

第一新聞

発行所
第一未来館
Tel:088-655-5001

第174号



芸術の秋、もう一つの窓から

もしある朝、目を覚ましたら、昨日まで白かった壁に小さな窓がひとつ増えていたとする。窓の向こうには、見慣れた街がある。いつもの道路があり、いつもの電柱があり、いつもの空がある。でも、なぜか少しだけ違って見える。芸術というものは、たぶん、そういう窓に似ている。美術館に行くとき、ときどき「この絵のどこがそんなにすごいのだろう」と思うことがある。説明を読んでも、歴史を調べても、どうにもよくわからない。でも、その絵の前を通り過ぎたあと、なぜかもう一度振り返ってしまふ。それでいいのだと思う。芸術は、答えを教えてくれる先生ではなく、こちらに質問を残していく少し変わった先生なのだ。

ゴッホの「星月夜」を見ると、夜空が静かなものではなく、星は空に貼りついた小さな電球ではなく、何かを伝えようとしてぐるぐる回っているように見える。夜という大きな水槽の中で、星たちがゆっくり泳いでいるように見える。フェルメールの絵を見ると、逆に時間が止まる。窓から差し込む光、部屋の中にいる人、机の上の小さな物、何も起きていないように見えるのに、そこには不思議な緊張感がある。まるで誰かが「ちよつと待つて。この瞬間を忘れないで」と、時間の流れにそつと葉を挟んでいるみたいだ。ダリの絵の前では、もつと奇妙なことが起こる。時計が柔らかくなり、現実の形が少しづつ崩れていく。普段なら「そんなことはありえない」と笑ってしまうような世界なのに、絵の中ではそれが当たり前になっている。ピカソもまた、

私たちの「見る」という習慣を揺さぶった。私たちは、物を見ると、無意識に「こういうものだ」と決めてしまう。顔はこういう形、机はこういう形、人間はこういう形。でもピカソの絵を見ると、その当たり前が少し曲がってしまふ。芸術には、そういう力がある。世界を変えるのではない。世界を見る自分のほうを、少しだけ変えてしまふのだ。

考えてみれば、勉強にも似たところがある。昨日まで意味のわからなかった言葉が、ある日突然わかるようになる。数学の問題が、ある瞬間に違う形に見える。知らなかった歴史を知ること、今まで何気なく見ていたニュースの意味が変わる。知識というものは、ときどき新しい窓を作る。そして、その窓が増えるほど、同じ景色でも見えるものが増えていく。だから芸術は、特別な人だけのものではない。「この絵が好きだ」と思ってもいいし、「よくわからない」と思ってもいい。「なんとなく嫌いだ」という感想だって構わない。大切なのは、自分の目で見て、自分の頭で考えてみることだ。

秋は、世界の輪郭が少しだけ鮮明になる季節だ。いつもの道を歩く。空を見る。美術館へ行く。本を開く。そして、ひとつの絵の前で少し長く立ち止まってみる。すると、昨日まで何もなかった風景の中に、見覚えのない扉が見つかるかもしれない。その扉の向こうに何があるのかは、誰にもわからない。ただ、芸術というものは、ときどき私たちをそこまで連れていってくれるのだ。

（宇都宮先生）

ゼミ中学部だより(10月)

十月、今からの頑張りが未来を変える！

中三生の皆さん、いよいよ十月です。そして皆さんの高校進路を決める大きなテストである第一回基礎学力テストが控えています。英語・数学・国語では中三生の学習内容が含まれ、理科・社会では中一・中二で学習した内容を中心に、これまでの総まとめが必要となります。

今回だけでなく、中三生の基礎学力テストは、今回を含めて十一月・一月の合計三回あります。高校受験に向けて、自分の現在の学力を確認する大切な機会です。決して油断せず、過去問や普段のテスト対策を活用して、出題傾向を確認するとともに、苦手分野を一つずつ克服しておきましょう。「まだ大丈夫」ではなく、「今からできることを始める」という気持ちが必要です。

さて、中一・中二生の皆さんも、二学期中間テストや課題テストなど、これからいくつものテストが待っています。中間テストは範囲が決まっているため、計画的に準備することができます。目安として、定期テスト二週間前から対策を始めるようにしましょう。

まずはテスト範囲を確認し、「いつまでに学校の課題を終わらせるか」「どの教科をいつ復習するか」「自分の苦手分野は何かを明確にしてください。計画を立てておけば、テスト直前に慌てることも少なくなり、気持ちにも余裕が生まれます。ただし、学校の課題を終わらせるだけでは十分なテスト対策とはいえません。課題を提出することをゴールにするのではなく、その後の復習こそ大切です。テスト範囲は最低でも二・三往復することを意識し、二回目で間違えた問題を解き直して、三回目には自力で解けるかどうかを確認します。「やったこ

とがある」から「一人で解ける」へ。この差が、本番の得点につながります。

そして、勉強を継続するためには正しい姿勢も大切です。背筋を伸ばし、机と目の距離を適度に保つことで、体への負担を減らし、集中して学習しやすくなります。長時間机に向かうだけでなく、適度な休憩も取り入れながら、質の高い勉強を心がけましょう。

時間には限りがあります。だからこそ、「明日やろう」ではなく、「今日できることを今日やることを大切にしてください。一日一日の積み重ねが、やがて大きな力になります。さあ、二〇二六年の十月を、自分自身が成長できる一か月にしましょう！」

（工藤先生）



いよいよ始まる、基礎学力テスト

朝晩の空気が少しずつ涼しくなり、秋の訪れを感じる季節になりました。空を見上げると、夏よりも高く感じられ、日が暮れる時間もずいぶん早くなってきました。十月は「実りの秋」といわれます。春から積み重ねてきたものが、少しずつ形になって表れてくる季節です。

勉強についても、この時期は一つの大きな節目となります。特に中学3年生にとつて重要なのが、月初めに行われる「第一回基礎学力テスト」です。

徳島県の中学三年生が受ける基礎学力テストは、十月・十一月・一月の全部で三回行われます。このテストは、単に学校で成績をつけるためだけのものではなく、高校入試でどの高校に出願するかを考えた際、中学校の先生が進路指導

を行うための大切な判断材料になります。

徳島県の高校入試では、多くの高校で最終的な出願倍率が一倍を少し超える程度に収まります。しかし、それは「簡単に合格できる」という意味ではありません。実際には、出願する前の段階で、基礎学力テストの結果などをとらえ、中学校の先生と生徒・保護者との間で進路についての面談が行われます。その話し合いを通して、どの高校を受験するのが決まってくるからです。

つまり、高校入試は入試当日だけで決まるものではありません。そのずっと前から、すでに受験は始まっているのです。

そして、その最初の大きなポイントになるのが、今回の第一回基礎学力テストです。もちろん、この一回ですべてが決まるわけではありません。大切なのは、結果を「良かった」「悪かった」だけで終わらせないことです。どの教科で点を取ることができたのか。どの単元がまだ弱いのか。時間配分に問題はなかったか。覚えていたはずなのに間違えた問題はなかったか。一つひとつ分析すれば、その結果は次に向けた大切な作戦表になります。

受験勉強は、ただ長い時間机に向かえばよいものではありません。今の自分に何が足りないのか。次の一手を考えて行動することが大切です。

（日下先生）



ハイフリット通信

十月といえば、「食欲の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」など、さまざまな言葉で表される季節です。暑さも少しずつ和らぎ、何か新しいことに取り組むにはぴったりの時期でもあります。そこで、皆さんにはこの十月を、ぜひ「チャレンジの秋」として過ごしてほしいと思います。

てほしいと思います。

十月には、「全国統一中学生テスト」「全国統一高校生テスト」が実施されます。全国の同学年の生徒たちと同じ問題に挑戦し、今の自分の力を知ることができる大切な機会です。もちろん、現在の学力や学習状況は一人ひとり違います。得意な科目が多い人もいれば、まだ苦手分野が残っている人もいます。学校の進捗も、これまでの学習量も、それぞれ異なります。だからこそ、まずは今の自分の立ち位置を知り、そこからどこまで伸ばせるかを考えてほしいと思います。そして、ただ漫然と統一テストを受けるのではなく、ぜひ目標点を決めてください。

「今回は英語で〇点、数学で〇点を取る」と目標を決めたら、次は、その目標点に到達するために何をすればよいのかを考えます。苦手な単元を復習する、必要までに「必ずやるべきこと」を具体的に決め、それを一つひとつやり遂げる。その積み重ねが、本番で力を発揮するための準備になります。

もちろん、目標通りの点数が取れないこともあるでしょう。しかし、目標に向けて何をするかを考え、実際に行動した経験は、必ず次につながります。テストが終わった後も、結果だけを見るのではなく、「目標に向けて何ができたのか」「何が足りなかったのか」を振り返ることで、次の課題が見えてきます。

模試は、今の自分を決めつけるためのものではありません。今の自分を知り、次の一歩を決めるためのものです。現在地は、みなそれぞれ違います。だからこそ、人と比べるだけではなく、今の自分にできる最大限の力を発揮することを大切にしてください。この十月を、一人ひとりが自分自身に挑戦する「チャレンジの秋」にしてほしいと思います。この秋、今の自分を一歩超えるために、一丸となつて皆で頑張ります！（小倉先生）

秋の到来！？

秋になり、過ごしやすい季節になりました。…と言いたいところですが、九月の前半に書いていたので、実際のところはまだ分かりません。

今年は各地で災害級の大雨に見舞われたり、台風が一回転するような異例の動きを見せたりと、例年とは少し様子の違う天候が続きました。一方で、四国ではなぜか雨がほとんど降らず、早明浦ダムの水不足がニュースになるなど、地域によって天候は大きく異なっています。十月には、過ごしやすい、秋らしい気候になっていることを期待したいところですが、

さて、秋といえば「勉強の秋」。そして、東進の秋といえば「A1演習」です。A1演習では、皆さんの学習履歴や志望校の入試傾向、過去の合格者・不合格者のデータなど、二百億件を超えるさまざまなデータをもとに、一人ひとりが克服すべき課題を特定します。さらに、単元・ジャンルごとの優先度まで明確にしたうえで、約五十万問の中から、それぞれの学習状況に合わせた「必勝必達演習セット」を提案します。

受験本番まで、残された時間は限られています。だからこそ、ただ闇雲に問題を解くのではなく、「今、自分に何が必要なのか」を知り、必要な学習に時間を使うことが大切です。この秋は、A1演習を上手く活用しながら、自分の弱点を一つずつ克服していきましよう。そして、限られた時間を最大限に生かし、得点を着実に伸ばしていきましよう。

(齋藤先生)

全国統一テスト
今年も開催！

今年も「全国統一小学生テスト」「全国統一中学生テスト」「全国統一高校生テスト」が開催されます！徳島第一ゼミでは、第二回からこの全国規模の模試に参加しており、今年でなんと小学生部門は第三十九回目を迎えます！

高校生部門である「全国統一高校生テスト」は十一月一日(日)に実施されます！この模試は、東進ハイスクールの主催する全国規模の無料招待テストで、共通テスト本番レベルに準拠した内容となっており、高校一・三年生、そして意欲ある中学生が対象となっています。

このテストの最大の特徴は、「学力を測る」だけでなく「学力を伸ばし合格すること」を目的としている点です。この単元・学習項目からの出題かがわかるため、どの項目を復習すればよいのか一目瞭然です。また受験者全体の正答率もわかるため、全体正答率が高いにもかかわらず間違えてしまった学習項目を優先的に学習することができるので模試の復習に役立ててください。

また、成績優秀者には「決勝大会」への招待も！全国の精鋭たちが集い、課題作文などを通じて発信力を競い合います。さらに、決勝大会進出者の中からは、海外大学留学支援制度の対象者も選抜され、最大約七千八百四十万円の奨学金が給付されるチャンスもあるんです！

徳島駅前校の生徒も毎年決勝大会へ進出しています！今年は誰が進出するのか楽しみです。模試はひとりで受けるより、競い合える友人と一緒にうけると「どこが難しかった？」「ここどうやって解いた？」と話合うことで、理解も深まるし、刺激にもなります。是非とも、一緒にがんばる友人にも紹介してあげてください！

(伊勢先生)



時間の大切さ

令和九年度大学入学共通テストまで、あと百日ほどとなりました。大学受験を控えた高校生にとって、これからの一日一日は、第一志望合格につながる大切な時間です。誰にでも一日は二十四時間あります。これ

は誰にとっても平等です。しかし、その二十四時間をどう使うかによって、積み重なるものは大きく変わります。合格する人だけに特別な時間が与えられているわけではありません。大切なのは、限られた時間を「今、自分に必要なこと」のために使えるかどうかです。

受験勉強は、一日で大きく変わるものではありません。けれど、毎日の三十分、一時間の積み重ねは、三か月後には大きな差になります。自分の得意・不得意を考え、優先順位をつけて学習計画を立て、一日一日を積み重ねていくことが大切です。

もちろん、学校生活や友人との時間など、忙しい毎日を過ごしている人も多いでしょう。だからこそ、空いた時間をどう使うかが重要になります。「少しだけ」と先延ばしにしているうちに、貴重な時間は過ぎていきます。明日やればよいと思っている今日という日は、二度と戻ってきません。

完璧でなくても構いません。迷いながらも一歩前に進む。その積み重ねが、受験本番で自分を支える力になります。

ひまぎの歩みを力に

残された百日をどう過ごすか。未来を変えるのは、特別な才能ではなく、今日という時間の使い方です。今この瞬間から、一日一日を大切にしていましよう。

(河野先生)

〇〇な秋

残暑が続いていますが、少しずつ朝方は気温が下がっている気がしますね。秋が近づきつつあるような、なな秋晴れが広がる十月になりました。実りの秋、そして学習においてもこれまでの成果が形となって現れ始める重要な季節の到来です。

毎年十月には、科学や世界に貢献した人々に贈られる「ノーベル賞」の発表があります。また、十月下旬には日本の技術を結集した火星衛星探査計画「MMX」の探査機打ち上げも予定されており、未知の領域に挑むユースも注目を集めています。こうした歴史的な発見や宇宙探査も、決してある日突然できたわけではなく、日々の地道な実験や検証の積み重ねによって成り立っています。勉強もまた長く、秋が本場に短く感じてしま

慣づくり、徹底して取り組んだ基礎練習と復習。みなさんがコツコツと積み重ねてきた時間は、決して無駄にはなっていないと。目に見えないところで着実に根を張り、大きな成長の準備を整えています。また、中学三年生のみならずにとつて最初の大きな山場である「第二回 基礎学力テスト」が学校で実施されます。進路選択に向けて自分の実力を測る大切なテストですが、必要以上に恐れる必要はありません。これまで準備してきた基礎知識を本番で一〇〇%発揮するために、十月の学習面と生活面を意識してほしいポイントは二つです。

①「1点の重みを意識した解き直し」テスト対策演習で間違えた問題は、「あ、うっかりミスだ」で終わらせず、なぜ間違えたのかを自分の言葉で確認しましよう。ケアレスミスを1つ減らすだけで、点数は大きく変わります。本番だと思つて一問一問にこだわりを持って向き合いましよう。

②インフルエンザ予防と徹底した体調管理▼インフルエンザが流行し始めています。せつかく身につけてきた実力も、テスト当日に体調を崩してしまつては十分に発揮できません。「手洗い・うがいの徹底」「十分な睡眠」「規則正しい食生活」を心がけ、万全のコンディションを整えることも立派なテスト対策の一つです。

積み重ねてきた努力は、正しい準備と万全の体調があつてこそ大きな成果となります。自分の可能性を信じて、十月の大きな一歩を踏み出していましよう。応援しています！

(市原先生)

また、「勉強の秋」も見過ごすわけには行けません。夏の頑張りがすぐさま芽を出し開花している人もいるでしょう。まだ、その芽が地面から完全に顔を出していないと感じている人もいます。

後述の人はここが踏ん張り時です。継続して丁寧に演習を積み重ね、復習していれば必ず芽がグンと地上へと出てくる時が来ます。それが十月なのか、十一月なのか、十二月なのか、個人差はありますが諦めずに継続することが絶対に必要です。その時にはきつと今まで自身が見ていた地下の景色とは全く違う、美しい青空や、目を見張るような星空も自由自在に見れるようになってはいます。

(竹田先生)

「勉強の秋」

秋になり、涼しく過ごしやすい日が増えましたね。気温が安定してくる秋。この気候が勉強に良い働きをしてくれます。秋の勉強のメリットをいくつか紹介します。

まず一つ目は、集中力についてです。夏の暑さや冬の寒さだと、体のだるさや手足の冷えを感じやすく、集中力が続かなくなります。しかし、秋は室内の温度が安定しやすく、机に向かう時の体の負担が少なくなります。自然と机に向かう時間が増え、コツコツ勉強する習慣が身につきます。二つ目は、睡眠の質についてです。安定した室温のおかげで、眠る時

言葉の力

NO.264

小さなことを重ねることが、
とんでもないところへ行く
ただひとつの道。
努力の先に、何かがある。
自分の限界を決めない。
やれることを、
やるだけやる。
壁にぶつかることは、
悪いことじゃない。
壁にぶつかることで、
自分が成長できる。
夢中になれるものを
見つけてほしい。
遠回りすることしか、
本当の自分に出会えない。
イチロー

イチロー：元プロ野球選手。現草野球チーム「KOBE CHIBEN」所属。日本では首位打者7回、ゴールデングラブ賞7回、パ・リーグMVP3回。メジャーリーグでは1年目に新人王とMVPを同時受賞。2004年には年間262安打を記録し、MLBシーズン最多安打記録を樹立。日米通算4,367安打を達成し、2019年にプロ野球を引退。

2026年 10月の予定

10/3 (土)	小3月例テスト (四谷) 13:45~14:50
英検	3級14:00~15:50 4級17:00~18:40
10/4 (日)	小4公開組分けテスト (四谷) 9:00~11:15
	小5公開組分けテスト (四谷) 9:00~12:05
10/5 (月)	公中検模試 (ゼミ小6城ノ内中受験生) 19:00~20:40
10/11 (日)	小6合不合格判定テスト (四谷) 9:00~12:05
10/25 (日)	全国統一中学生テスト 8:45~12:30
	※日曜授業 (中学部) は休みです。
10/31 (土) ~	全国統一小学生テスト対策勉強週間



お問合せ、お申込みはこちらから
0120-17-3759